

# 「令和の日本型学校教育」

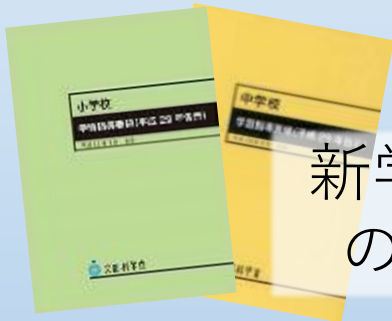

# 「令和の日本型学校教育」の姿

社会背景

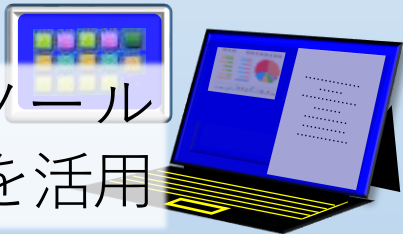
社会の在り方が劇的に変わる  
**Society5.0時代**の到来

社会全体の  
**DX加速の必要性**

先行き不透明な  
**予測困難な時代**



新学習指導要領  
の着実な実施

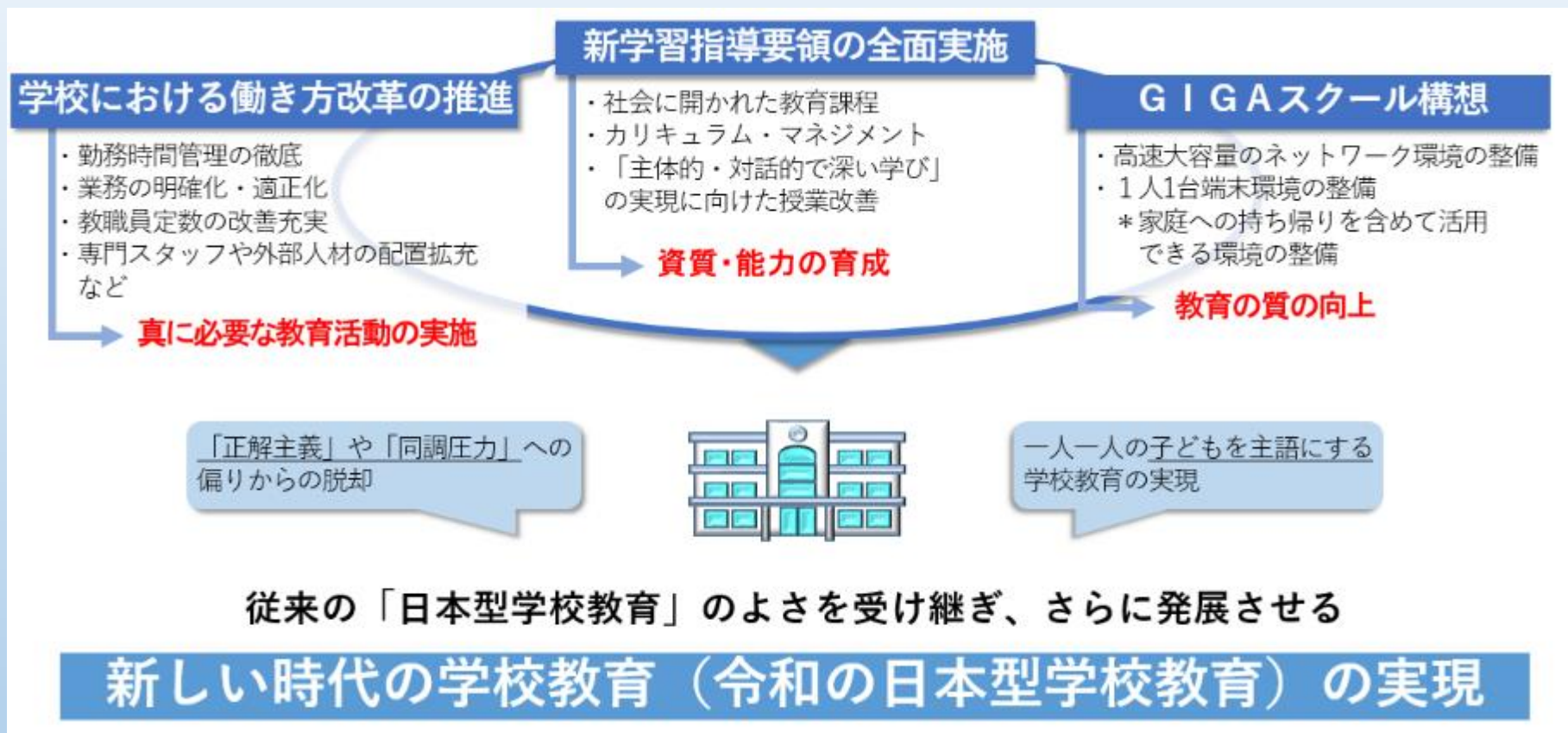


基盤的なツール  
としてICTを活用

子どもたち  
に育むべき  
資質・能力

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々との協議しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること

# 「令和の日本型学校教育」の姿



# 「令和の日本型学校教育」の姿

個別最適な学びと協働的な学びの実現

全ての子どもたちの可能性を引き出す



子どもの学び

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

個別最適な学び

協働的な学び

主体的・対話的で深い学び

ICTの活用



教職員の姿

- 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- 子ども一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- 子どもの主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

教師の資質・能力の向上

学校における働き方改革

家庭や地域社会との連携



子どもの学びや  
教職員を支える環境

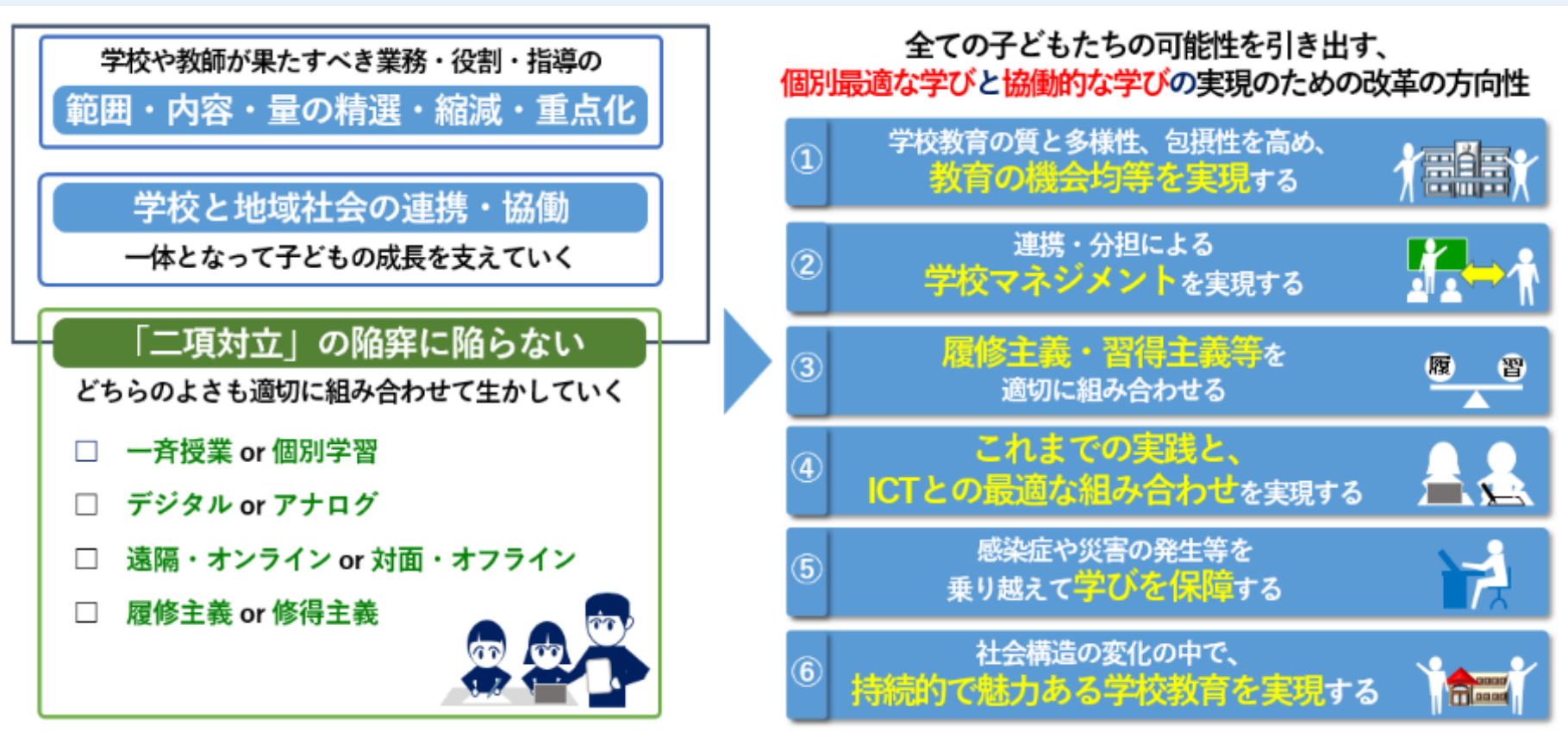
- ICT環境の整備により、指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

ICT環境の整備

学校施設の整備

少人数指導によるきめ細かな指導体制

# 「令和の日本型学校教育」の姿

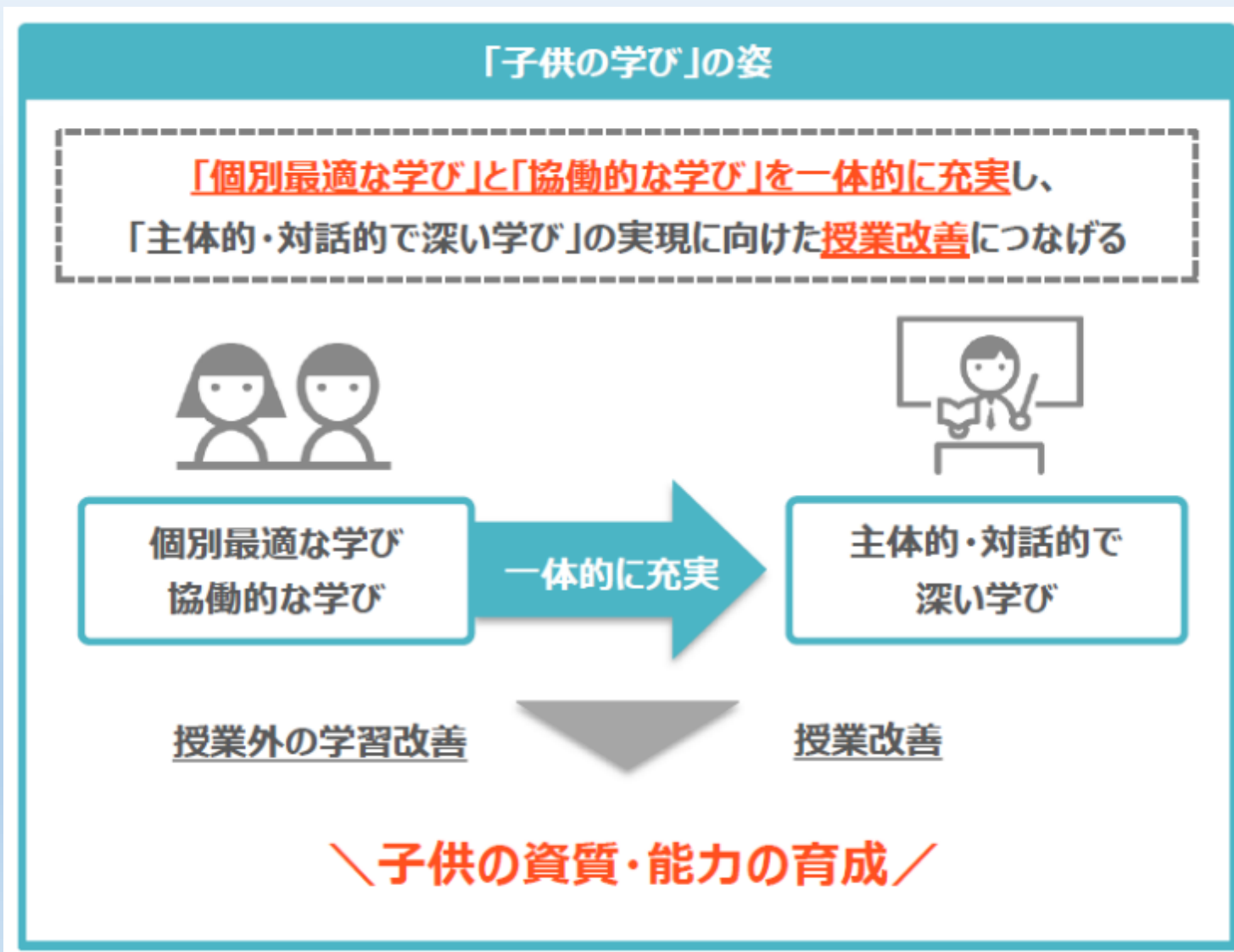


全ての子どもたちの可能性を引き出す、  
個別最適な学びと協働的な学びの実現のための改革の方向性

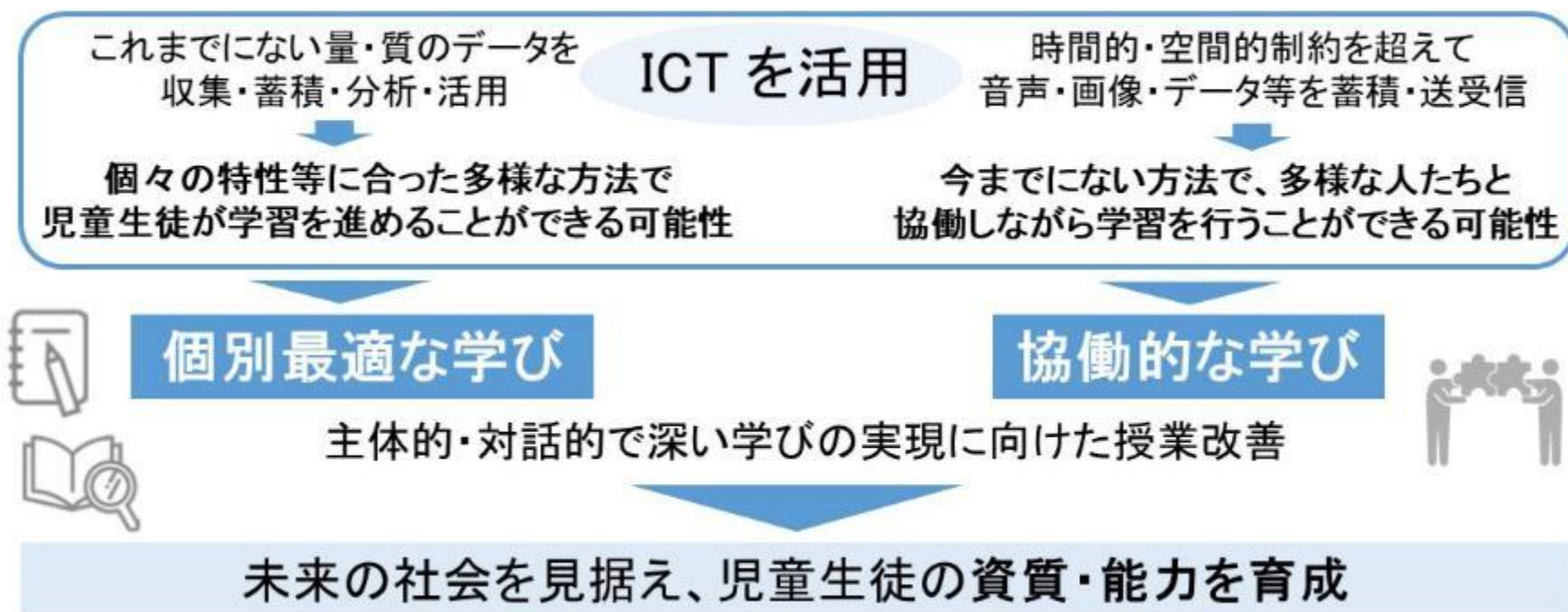
- ① 学校教育の質と多様性、包摂性を高め、  
教育の機会均等を実現する
- ② 連携・分担による  
学校マネジメントを実現する
- ③ 履修主義・習得主義等を  
適切に組み合わせる
- ④ これまでの実践と、  
ICTとの最適な組み合わせを実現する
- ⑤ 感染症や災害の発生等を  
乗り越えて学びを保障する
- ⑥ 社会構造の変化の中で、  
持続的で魅力ある学校教育を実現する

# ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

出典「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)【総論解説】



# ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実



# ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

## 個別最適な学び

個別最適な学び【学習者視点】（＝個に応じた指導【教師視点】）

子どもが自己調整しながら学習を進めていく

### 指導の個別化



自ら学習を調整



子ども一人一人の特性・  
学習進度・学習到達度

必要に応じた  
重点的な指導、  
指導方法等の工夫

学習内容の確実な定着

※ 一定の目標を全ての子どもが達成することを  
目指し、異なる方法等で学習を進める

### 学習の個性化



自ら学習を調整



子ども一人一人の興味・関心・  
キャリア形成の方向性等

一人一人に  
応じた学習活動・  
学習課題の提供

学習を深め、広げる

※ 異なる目標に向けて、学習を深め、広げる



# ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

## 個別最適な学び

### 指導の個別化



- ICT活用により得られるデータを活用し、きめ細かく学習の状況を把握・分析
- 個々の児童生徒に合った多様な方法で学習
- 学習履歴、生活・健康面の記録等、様々なデータを可視化し、学習方法等を提案するツールの活用



### 確実な資質・能力の育成

- ※ 児童生徒が自らの状態を把握し、自らに合った学習の進め方を考えることができるよう、教師による指導を工夫していくことが重要

### 学習の個性化



- 情報の探索
- データの処理や視覚化
- レポートの作成
- 情報発信



### 学びの質の高まり、深い学びの実現

- ※ 児童生徒がこれまでの経験を振り返ったり、これからのキャリアを見通したりしながら、自ら適切に学習課題を設定し、取り組んでいけるよう、教師による指導を工夫していくことが重要

# ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

## 協働的な学び

### 協働的な学び

探究的な学習や体験活動などを通じ、多様な他者と協働する



一人一人の  
よい点・可能性

多様な  
他者と協働



クラスメイト  
異学年・他校の子ども  
地域の方々  
専門家



- ICTの活用により、児童生徒一人一人が自分のペースを大事にしながら共同で作成・編集等を行う活動
- 多様な意見を共有しつつ合意形成を図る活動
- 遠隔地の専門家とつないだ授業
- 他の学校・地域や海外との交流



※ 同時に、同じ空間で時間を共にすることで、お互いの感性や考え方等に触れ刺激し合うことや、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことが重要

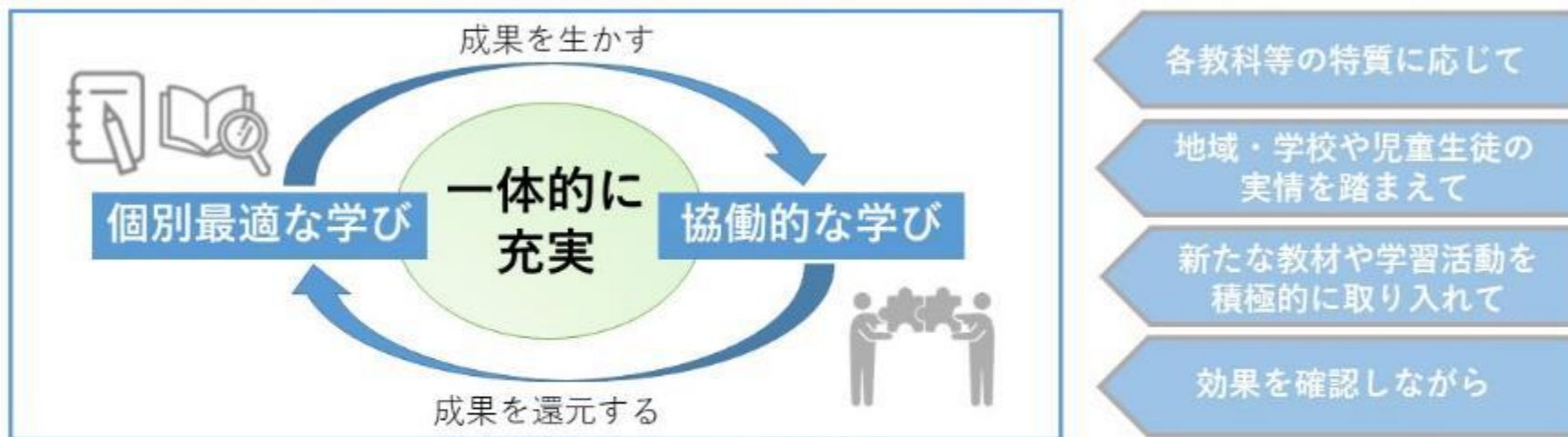
異なる考え方が組み合わせさり、よりよい学びを生み出す

# ・ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

## 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

### 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

実際には、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素が組み合わさって実現されていくことが多い



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

持続可能な社会の創り手

# 1 今日的教育動向

- 「カリキュラム・マネジメント」

## カリキュラム・マネジメント

# 1 今日的な教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントとは

各学校には、学習指導要領等を受け止めつつ、子どもたちの姿や地域の実情等を踏まえて、各学校が設定する学校教育目標を実現するために、学習指導要領等に基づき教育課程を編成し、それを実施・評価し改善していくことが求められる。これが、いわゆる「カリキュラム・マネジメント」である。

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」（平成28年12月21日 文部科学省）

# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントとは

## 【カリキュラム・マネジメントの3つの側面】

- ① 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた**教科等横断的**な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していくこと。
- ② 教育内容の質の向上に向けて、子どもたちの姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連の**PDCAサイクル**を確立すること。
- ③ 教育内容と、教育活動に必要な**人的・物的資源**等を、地域等の外部の資源も含めて活用しながら**効果的に組み合わせ**ること。

# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントとは

## 教科等横断的な視点：教育課程全体で取り組む課題

### ○ 現代的な課題

- ・環境教育 ・キャリア教育 ・情報教育
- ・防災教育 ・食育 ・ESD
- ・プログラミング教育 など

### ○ 育成を目指す資質・能力

#### 三つの柱のバランスの取れた実現

- (1) 知識及び技能が習得されるようにする。
- (2) 思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 学びに向かう力、人間性等を涵養する。

# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

- ・カリキュラム・マネジメントとは

## P D C A サイクルの確立：授業を振り返る

### ◇ 教育課程の編成・実施・評価・改善

#### <授業を振り返る>

- ・学習評価－カリキュラム評価－学校評価
- ・単元を含む年間指導計画の評価
- ・年間指導計画を基にしたカリキュラム評価
- ・カリキュラム評価を基にした学校評価



## 1 今日的な教育動向

### ○ 「カリキュラム・マネジメント」

#### ・カリキュラム・マネジメントとは

## 人的・物的資源の確保

○ 人材や予算、時間、情報といった資源を、教育内容と効果的に組み合わせる。

○ カリキュラム・マネジメントは、全ての教職員が参加することによって、学校の特色を創り上げていく営み。

# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

- ・カリキュラム・マネジメントとは

## カリキュラム・マネジメントのねらい

○過度に進行した教科等による縦割の教育課程、学校のシステムや組織運営の是正

○学校の全体的な在り方を改善

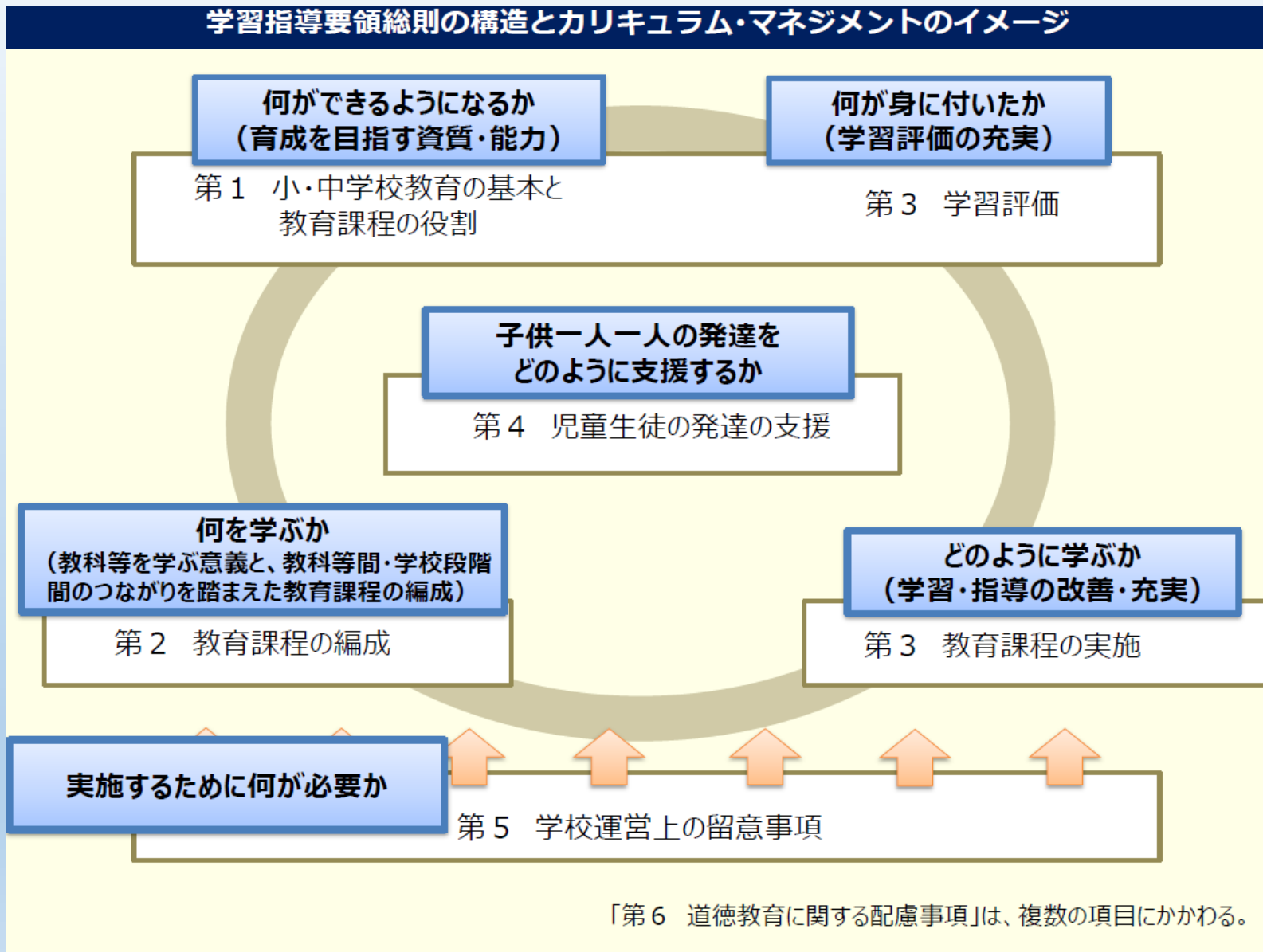
○学級担任や教科担任などに、自他の授業や学級経営が教育課程といかなる関係にあるか、学校教育目標の実現にいかなる役割を果たすか、などについて自らとの対話の促進

# 1 今日的な教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントとは

#### 学習指導要領総則の構造とカリキュラム・マネジメントのイメージ



# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

- ・カリキュラム・マネジメントとは

# カリキュラム・マネジメントと総則

## 第1 小(中)学校教育の基本と教育課程の役割

## 第2 教育課程の編成

- 1 各学校の教育目標と教育課程の編成
- 2 教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成
- 3 教育課程の編成における共通的事項
- 4 学校段階等間の接続

## 第3 教育課程の実施と学習評価

- 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 2 学習評価の充実

## 1 今日的教育動向

### ○ 「カリキュラム・マネジメント」

- ・カリキュラム・マネジメントとは

# カリキュラム・マネジメントと総則

## 第4 児童(生徒)の発達の支援

- 1 児童(生徒)の発達を支える指導の充実
- 2 特別な配慮を必要とする児童(生徒)への指導

## 第5 学校運営上の留意事項

- 1 教育課程の改善と学校評価(、教育課程外の活動との連携)等
- 2 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携

## 第6 道徳教育に関する配慮事項

# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントの充実に向けて

#### 教育課程の編成

##### 明確な教育目標の設定

■ 教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して育成を目指す資質・能力を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にする。

##### 教科等間のつながりを意識して 教育課程を編成・実施

■ あらゆる教科等に共通した学習の基盤となる資質・能力や、教科等の学習を通じて身に付けた力を統合的に活用して現代的な諸課題に対応していくための資質・能力を、教育課程全体を見渡して育んでいくことが重要となる。

児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握

教育の目標を明確化

教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成  
教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習の推進

教科等間のつながりを意識して教育課程を編成・実施することが重要

# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントの充実に向けて

#### 【教育目標と教育課程の編成】

##### 「教育目標」を教育活動の質の向上につなげるために

- カリキュラム・マネジメントの必要性について教職員間で理解を深める
- 各学校における自己評価の現状を学校全体で改めて確認する
- 年度当初に重点目標を明らかにして、各分掌、学年、教科等、教職員一人一人が目標を考える場面を設定する 等

##### 教育課程の編成・実施に当たっては

児童生徒が学校を卒業し社会に出た後も見通し、  
育成を目指す資質・能力を明確化

未来の姿から逆算して、現在の学年・教科・単元等でどのような指導を行うべきかという長期的な視点で行うことが重要

学校と家庭や地域、企業等とが育成を図る資質・能力やその重要性、発達の段階に応じた指導や長期的な視点に立った資質・能力の育成などについて認識の共有を図ることが重要

# 1 今日的な教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントの充実に向けて

## 【教科等横断的な視点からの教育課程の編成】

教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を選択

- ◆ 各教科等の内容相互の関連を図りながら指導計画を作成
- ◆ 児童生徒の生活時間と教育の内容との効果的な組合せを考える

### 各教科等の関連を明らかにした指導計画例 (「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(小・中学校編))

各教科等を網羅した事例(小学校)

行徳指導計画(第4学年)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合的な学習の時間(70)	大塚きみどり引一 出度一 みどり引(28) ○自分がかまうことについて探究し、目について自分の考えをもち、 ○自分が興味をもつことについて探究し、目について自分の考えをもち、 ○自分が興味をもつことについて探究し、目について自分の考えをもち、 ○自分が興味をもつことについて探究し、目について自分の考えをもち、				大塚きみどり引一 ところ探訪! みどり引(30) ○自分が興味をもつことについて探究し、目について自分の考えをもち、 ○自分が興味をもつことについて探究し、目について自分の考えをもち、 ○自分が興味をもつことについて探究し、目について自分の考えをもち、				
国語(245)	本と生活、人と生活	読書の楽しさ	読書の楽しさ	読書の楽しさ	読書の楽しさ	読書の楽しさ	読書の楽しさ	読書の楽しさ	読書の楽しさ
社会(90)	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会	暮らしのなかの社会
算数(175)	数の性質	数の性質	数の性質	数の性質	数の性質	数の性質	数の性質	数の性質	数の性質
理科(105)	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化	身のまわりの変化
音楽(60)	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ	歌と楽器の楽しさ
図工(60)	紙と生活	紙と生活	紙と生活	紙と生活	紙と生活	紙と生活	紙と生活	紙と生活	紙と生活
体育(105)	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ	運動の楽しさ

関連教科等を重点的に示した事例(中学校)

日	総合的な学習の時間の主な学習活動	教科等
	昔の暮らし-今の暮らし 一昔の枝「炭」を生かしてスローライフを味わおう-	
5	①地域の暮らしに根付いてきた「炭」について関心を高めよう(8時間) ・昔の生活に欠かすことのできなかった「炭」について調べ、現代のエコ生活にも十分に活用できることについて理解する。 ・季節に応じて炭焼きに適した材料を集める計画やできあがった炭をどのように役立てるかの計画を立てる。	【社会】地理的分野 エキゾチックな地域の調査 【理科】第1分野(7)科学技術と人間(ウ)自然環境の保全と科学技術の利用 【技術】A材料と加工に関する技術ア、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えること
6	②炭焼き名人森田さんから炭焼きの技を学ぼう(10時間) ・地域に住む炭焼き名人に品質の良い炭の焼き方を習い、火のおこし方、管理の仕方、炭の焼き方、焼き方のコツについて学び、実際に炭を焼く。	【国語】B書くこと ア、日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめること
7	③できあがった炭をどのように役立てるかももう一度計画を練ろう(4時間) ・できあがった炭を使って使用計画を作成する。それぞれの計画を基に意見交換しながら、全体としての計画をまとめていく。	【国語】B聞くこと エ、必要に応じて質問をしながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること
	④炭の歴史や炭の活用法を調べ、計画に生かそう(2時間) ・計画立案の中で生まれてきたアイデアの実現可能性や炭のさらなる活用法を幅広く調査したり、情報収集したりする。	
	⑤できあがった炭を生活に役立てよう(4時間)	



# 1 今日的教育動向

## ○ 「カリキュラム・マネジメント」

### ・カリキュラム・マネジメントの充実に向けて

## 【教育課程の実施状況の評価と改善】

### 児童生徒の資質・能力の育成に当たって

- 各種調査結果やデータ等を活用して、児童生徒や学校、地域の実態を定期的に把握
- 教育の目的・目標の実現状況や教育課程の実施状況を確認・分析
- 課題となる事項を見だし、改善



- 学力調査等の結果の活用をカリキュラム・マネジメントに位置付ける。
- 学習評価を教育課程の評価等と結び付ける。
- 教育課程の評価を学校評価と関連付ける。



**学習評価の改善を授業改善及び組織運営の改善等に向けた学校教育全体のサイクルに位置付けていくことが必要**

**教師全員がカリキュラム・マネジメントに参画し、学校がチームとして取り組むことが重要**